平成25年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月2日

上場会社名	宇部興産株式会社		上場取引所　東・福
コード番号	4208	ＵＲＬ　http://www.ube.co.jp	
代表者　（役職名）	代表取締役社長	（氏名）竹下　道夫	
問合せ先責任者（役職名）	ＩＲ広報部長	（氏名）坂本　靖子	（ＴＥＬ）　03-5419-6110
四半期報告書提出予定日	平成24年11月9日		配当支払開始予定日　　－

四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　　：有（アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

１．平成25年３月期第２四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	310,775	△0.3	16,188	△28.5	14,676	△29.2	8,461	△30.5
24年３月期第２四半期	311,642	5.8	22,649	35.4	20,722	51.1	12,171	60.1

（注）包括利益　25年３月期第２四半期 10,656百万円（△13.4%）　24年３月期第２四半期 12,310百万円（307.1%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第２四半期	8.42	8.40
24年３月期第２四半期	12.11	12.09

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第２四半期	669,936	237,667	30.6
24年３月期	664,965	224,407	30.0

（参考）自己資本　　25年３月期第２四半期 205,013百万円　　24年３月期 199,473百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	0.00	―	5.00	5.00
25年３月期	―	0.00			
25年３月期（予想）			―	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 ： 無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	638,000	△0.1	36,000	△21.7	30,000	△26.5	16,000	△30.3	15.91

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 ： 無

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：有
④ 修正再表示　：無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものです。詳細は、添付資料「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期２Ｑ	1,009,165,006株	24年３月期	1,009,165,006株
② 期末自己株式数	25年３月期２Ｑ	3,825,000株	24年３月期	3,810,090株
③ 期中平均株式数　（四半期累計）	25年３月期２Ｑ	1,005,348,204株	24年３月期２Ｑ	1,005,330,760株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料及び添付資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化により見通しと大きく異なる場合もありえますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。

※　当社は、以下のとおりネットコンファレンスを開催する予定です。当日の資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成24年11月２日（金）・・・・・アナリスト、機関投資家向けネットコンファレンス

【添付資料の目次】

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 5
（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11
（６）セグメント情報等 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の経済情勢は、米国では緩やかな回復が続いたものの、欧州財政危機への不安が世界経済に影響を及ぼし、アジアでも中国をはじめとして景気の拡大テンポが鈍化するなど、世界経済は減速感が広がりました。一方国内経済は、復興需要等を背景として景気は緩やかに持ち直しつつも、円高や海外景気の減速など、不透明感が強まりました。

このような状況の下、当社グループは、当期を最終年度とする三カ年の中期経営計画「ステージアップ２０１２－新たなる挑戦－」の基本方針である「持続的成長を可能にする収益基盤の確立」「財務構造改革の継続」「地球環境問題への対応と貢献」に基づき、市場や需給環境の変化にスピード感を持って対応するとともに、各事業課題の解決に向け、取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの連結売上高は前年同期に比べ８億６千７百万円減の３，１０７億７千５百万円、連結営業利益は６４億６千１百万円減の１６１億８千８百万円、連結経常利益は６０億４千６百万円減の１４６億７千６百万円、連結四半期純利益は３７億１千万円減の８４億６千１百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結四半期純利益
当第２四半期	３，１０７億円	１６１億円	１４６億円	８４億円
前 年 同 期	３，１１６億円	２２６億円	２０７億円	１２１億円
増　減　率	△０．３％	△２８．５％	△２９．２％	△３０．５％

セグメント別の概況は以下のとおりです。

化成品・樹脂セグメント

ナイロン原料のカプロラクタムは、世界的な景気の減速や中国市場での他社新設備稼働開始に伴う需給緩和により市況が低迷し、スプレッド（製品と原料の値差）は好調だった前年同期に比べ大幅に縮小しました。ポリブタジエン（合成ゴム）も中国需要低迷の影響を受け、出荷は前年同期を下回りました。一方、ナイロン樹脂はエコカー補助金の効果などもあり、自動車向けを中心として好調で、工業薬品も総じて堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ５８億３千３百万円減の１，０９３億７千１百万円、連結営業利益は９８億８千８百万円減の３８億９千万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	１，０９３億円	３８億円
前 年　同 期	１，１５２億円	１３７億円
増　減　率	△５．１％	△７１．８％

機能品・ファインセグメント

リチウムイオン電池用の電池材料については、セパレーターの出荷は車載需要の立ち上がりに伴い伸長しましたが、電解液の出荷は国内民生需要低迷の影響を受け低調でした。電子情報材料分野での需要回復遅れにより、薄型テレビ向けフィルムを中心とするポリイミドの出荷も伸び悩み、太陽電池生産部材向けを中心とするセラミックスなど、多くの機能性材料で出荷が低調でした。ファインケミカル製品は、総じて市況低迷の影響を受けました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ１４億４千１百万円減の３２１億４百万円、連結営業利益は１８億５千６百万円減の１８億６千４百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	３２１億円	１８億円
前 年　同 期	３３５億円	３７億円
増　減　率	△４．３％	△４９．９％

医薬セグメント

抗アレルギー剤や血圧降下剤、抗血小板剤の自社医薬品を中心として、原体・中間体の販売は順調に伸長し、ロイヤルティー収入も増加しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ１８億７千１百万円増の５６億９千２百万円、連結営業利益は１２億４千８百万円増の１９億４千８百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	５６億円	１９億円
前 年 同 期	３８億円	７億円
増 減 率	４９．０％	１７８．３％

建設資材セグメント

セメント・生コン及び建材製品の出荷は、マンション・住宅着工や企業の設備投資が持ち直すとともに、復興需要も出始めたことから、前年同期を上回りました。各種廃棄物の原燃料へのリサイクルも堅調でした。カルシア・マグネシア製品の販売は、自家発電設備の排煙脱硫向けの出荷は堅調でしたが、鉄鋼、電子情報材料向けの需要は低迷しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ７億１千万円増の１，０１５億３千５百万円、連結営業利益は１６億７千４百万円増の４５億８千２百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	１，０１５億円	４５億円
前 年 同 期	１，００８億円	２９億円
増 減 率	０．７％	５７．６％

機械・金属成形セグメント

自動車産業向けを中心とする成形機は、新機種の市場への浸透が進み、受注は新興国・北米向けを中心に増加しました。竪型ミルや運搬機等の産業機械は、円高や国内外メーカーとの価格競争の激化等により受注では厳しい状況が続きましたが、足元の出荷は堅調でした。製鋼品は、市場の需要低迷及び円高の影響を受け、出荷は低調でした。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ７億９千万円増の３４３億６千５百万円、連結営業利益は１０億２百万円増の１６億３千１百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	３４３億円	１６億円
前 年 同 期	３３５億円	６億円
増 減 率	２．４％	１５９．３％

エネルギー・環境セグメント

石炭事業は、販売炭の売上数量、コールセンター（石炭中継基地）の取扱い数量とも、化学、製紙会社向けを中心に好調でした。電力事業は、燃料である石炭価格の下落及び電力需給逼迫に伴う売電価格上昇により採算が改善したことに加えて、ＩＰＰ発電所にかかる補修費が前年同期に比べ減少しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ４６億３千３百万円増の３５４億４千５百万円、連結営業利益は１１億８千１百万円増の２６億９千９百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	３５４億円	２６億円
前 年 同 期	３０８億円	１５億円
増 減 率	１５．０％	７７．８％

その他のセグメント

その他の連結売上高は前年同期に比べ１億６千８百万円減の１２３億８千４百万円、連結営業利益は４千２百万円増の４億４千２百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	１２３億円	４億円
前 年 同 期	１２５億円	４億円
増　減　率	△１．３％	１０．５％

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期末の総資産は前年度末に比べ、受取手形及び売掛金が５３億１千２百万円減少しましたが、商品及び製品などのたな卸資産が７４億２千９百万円増加したことなどにより流動資産が３６億５千９百万円増加した結果、４９億７千１百万円増加し６，６９９億３千６百万円となりました。

負債については、有利子負債が４３億１千９百万円減少し、また支払手形及び買掛金が２６億１千５百万円減少したことなどにより、８２億８千９百万円減少し４，３２２億６千９百万円となりました。

純資産は、剰余金の配当により利益剰余金が５０億３千５百万円減少しましたが、四半期純利益により利益剰余金が８４億６千１百万円増加、タイ国子会社における第三者割当増資の実施などにより少数株主持分が７６億９千１百万円増加、また為替換算調整勘定が２８億９千万円改善したことなどにより、１３２億６千万円増加し２，３７６億６千７百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢につきましては、新興国の成長が鈍化するなど世界経済は減速の動きが広がり、国内経済においても輸出の低迷、デフレの影響など、事業環境は一段と厳しさを増しております。

こうした情勢を踏まえ、通期の業績予想につきましては、平成２４年１０月１５日に公表しました通り、売上高６，３８０億円、営業利益３６０億円、経常利益３００億円、当期純利益１６０億円を見込んでおります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,267	32,575
受取手形及び売掛金	150,108	144,796
商品及び製品	34,988	39,967
仕掛品	18,697	20,305
原材料及び貯蔵品	27,581	28,423
その他	20,285	22,483
貸倒引当金	△509	△473
流動資産合計	284,417	288,076
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	85,084	86,122
機械装置及び運搬具（純額）	121,471	127,082
土地	84,093	84,412
その他（純額）	23,301	16,457
有形固定資産合計	313,949	314,073
無形固定資産		
その他	4,941	4,745
無形固定資産合計	4,941	4,745
投資その他の資産		
投資有価証券	34,883	34,966
その他	28,672	29,734
貸倒引当金	△1,976	△1,800
投資その他の資産合計	61,579	62,900
固定資産合計	380,469	381,718
繰延資産	79	142
資産合計	664,965	669,936

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,811	86,196
短期借入金	97,073	99,110
コマーシャル・ペーパー	2,999	2,999
1年内償還予定の社債	15,000	－
未払法人税等	6,570	6,573
賞与引当金	7,415	7,308
その他の引当金	981	953
その他	48,542	47,923
流動負債合計	267,391	251,062
固定負債		
社債	15,100	30,100
長期借入金	122,151	115,853
退職給付引当金	6,534	6,556
その他の引当金	3,591	2,927
負ののれん	2,077	1,619
資産除去債務	1,148	1,160
その他	22,566	22,992
固定負債合計	173,167	181,207
負債合計	440,558	432,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	58,435	58,435
資本剰余金	28,459	28,459
利益剰余金	132,751	136,177
自己株式	△784	△786
株主資本合計	218,861	222,285
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,427	686
繰延ヘッジ損益	△193	△226
為替換算調整勘定	△20,622	△17,732
その他の包括利益累計額合計	△19,388	△17,272
新株予約権	462	491
少数株主持分	24,472	32,163
純資産合計	224,407	237,667
負債純資産合計	664,965	669,936

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	311,642	310,775
売上原価	250,271	256,095
売上総利益	61,371	54,680
販売費及び一般管理費	38,722	38,492
営業利益	22,649	16,188
営業外収益		
受取利息	336	283
受取配当金	425	347
受取賃貸料	625	608
負ののれん償却額	79	67
持分法による投資利益	1,062	556
その他	1,367	2,527
営業外収益合計	3,894	4,388
営業外費用		
支払利息	2,233	1,903
賃貸費用	648	527
為替差損	737	605
その他	2,203	2,865
営業外費用合計	5,821	5,900
経常利益	20,722	14,676
特別利益		
固定資産売却益	113	134
投資有価証券売却益	－	116
補助金収入	－	50
事業譲渡益	－	264
負ののれん発生益	－	65
特別利益合計	113	629
特別損失		
固定資産処分損	266	762
投資有価証券売却損	－	3
持分変動損失	－	213
減損損失	49	138
投資有価証券評価損	1,047	28
関連事業損失	122	－
特別損失合計	1,484	1,144
税金等調整前四半期純利益	19,351	14,161
法人税等	6,679	5,607
少数株主損益調整前四半期純利益	12,672	8,554
少数株主利益	501	93
四半期純利益	12,171	8,461

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	12,672	8,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△228	△763
繰延ヘッジ損益	△57	△38
為替換算調整勘定	△89	2,863
持分法適用会社に対する持分相当額	12	40
その他の包括利益合計	△362	2,102
四半期包括利益	12,310	10,656
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,961	10,598
少数株主に係る四半期包括利益	349	58

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	19,351	14,161
減価償却費	15,880	15,417
減損損失	49	138
負ののれん償却額	△79	△67
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△58	△216
受取利息及び受取配当金	△761	△630
支払利息	2,233	1,903
為替差損益（△は益）	121	△15
持分法による投資損益（△は益）	△1,062	△556
固定資産売却損益（△は益）	△108	△164
売上債権の増減額（△は増加）	830	4,875
たな卸資産の増減額（△は増加）	△15,876	△7,969
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,232	△2,063
その他	△462	2,255
小計	17,826	27,069
利息及び配当金の受取額	1,006	1,452
利息の支払額	△2,232	△2,044
法人税等の支払額	△4,999	△7,484
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,601	18,993
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△23,131	△18,476
有形固定資産の売却による収入	262	362
投資有価証券の取得による支出	△14	△1
投資有価証券の売却による収入	40	39
関係会社株式の取得による支出	△704	△4,341
関係会社株式の売却による収入	－	4,021
短期貸付金の増減額（△は増加）	135	142
その他	46	62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,366	△18,192
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△4,698	△32
コマーシャル・ペーパーの増減額（△は減少）	14,998	△0
長期借入れによる収入	4,493	12,427
長期借入金の返済による支出	△14,312	△16,798
社債の発行による収入	－	14,925
社債の償還による支出	△20	△15,000
少数株主からの払込みによる収入	－	9,663
配当金の支払額	△5,008	△5,047
少数株主への配当金の支払額	△414	△1,081
その他	△941	△776
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,902	△1,719
現金及び現金同等物に係る換算差額	326	217
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△17,341	△701
現金及び現金同等物の期首残高	49,522	33,107
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,181	32,406

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント								調整額（注1）	四半期連結損益計算書計上額（注2）
	化成品・樹脂	機能品・ファイン	医薬	建設資材	機械・金属成形	エネルギー・環境	その他	計		
売上高										
外部顧客への売上高	108,786	31,542	3,770	98,834	32,766	24,748	11,196	311,642	—	311,642
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,418	2,003	51	1,991	809	6,064	1,356	18,692	△18,692	—
計	115,204	33,545	3,821	100,825	33,575	30,812	12,552	330,334	△18,692	311,642
セグメント利益（営業利益）	13,778	3,720	700	2,908	629	1,518	400	23,653	△1,004	22,649

（注1） セグメント利益の調整額△1,004百万円には、セグメント間取引消去△47百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△957百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。
（注2） セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年９月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント								調整額（注1）	四半期連結損益計算書計上額（注2）
	化成品・樹脂	機能品・ファイン	医薬	建設資材	機械・金属成形	エネルギー・環境	その他	計		
売上高										
外部顧客への売上高	102,732	30,113	5,692	99,124	33,696	28,386	11,032	310,775	—	310,775
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,639	1,991	—	2,411	669	7,059	1,352	20,121	△20,121	—
計	109,371	32,104	5,692	101,535	34,365	35,445	12,384	330,896	△20,121	310,775
セグメント利益（営業利益）	3,890	1,864	1,948	4,582	1,631	2,699	442	17,056	△868	16,188

（注1） セグメント利益の調整額△868百万円には、セグメント間取引消去△31百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△837百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。
（注2） セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。